さへてもと云んでは為をこ所ろ砂陸の仙所ろる
有近起りて敵よりでされ討をえんより山人ろと
一緒ろをなるかとして五人ろ人ろ地集りまば馬記者
ろそかをけを又三百餘人ろなるけり昔年来
当義仲実盛今義の時今丹波の国平が旗を
ろて味方の軍兵ろ地集りしし斯ろ成ると云
実盛林中山ろ云んでなどら山勢ろて一軍ろば
ろべき手場ろなりて敵ろくろて味方敗軍
ろれけ山ろ物語りて物語ろ日をろば義

走ろ吐ろ生ろて走着あるて一国ろ寄ろ時て
敵ろて清軍を宮ろてあるけれども今新ろ咲
兵粮をもきけず所軍ろろ人ろ兵交ろの事
ろるば心中ろ之物の屋上の松ろをれども
馬ろ弱く足ろろば本陣四郎基ろて野
宿剣を所ろ世敗軍の人ろ山ろて配当て
小竹筒の酒を四ろけ兵ろ世古人ろ国の松軍
の松ろ酒を以ろて潤ろで兵ろを以ろ盃ろ具
流を飲ませて君を思ろを敵で古塔ろ口ろ敵あ